

## 随意契約結果書

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 物品等の名称及び数量                   | トンネル点検支援技術の高度化に関する研究  |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官<br>近畿地方整備局<br>近畿技術事務所長 達家 養浩<br>大阪府枚方市山田池北町11-1   |
| 契約締結日                        | 令和 2年 9月14日   |
| 契約の相手方の氏名及び住所                | 学校法人 日本工業大学   |
| 契約金額<br>(消費税及び地方消費税含む)       | ¥7,000,000-   |
| 予定価格<br>(消費税及び地方消費税含む)       | ¥7,000,000-   |
| 随意契約によることとした理由               | <p>本業務は、トンネル定期点検を合理的かつ効率的に実施するため、非破壊検査技術の有効活用や、画像・計測から得られたデータに対する自動解析やAI技術の活用方法などの支援技術検討する他、設計・施工に関するデータベースの保管・活用方法について検討するものである。</p> <p>また本業務は、第三者機関である「新都市社会技術融合創造研究会」が産・学・官の連携・協力を図るべく、大学等を対象に道路に関する研究テーマを公募し、上記法人に所属する研究者が応募したものである。本業務は、公募課題「トンネル点検支援技術の高度化に関する研究」に対して提案され、同研究会において審査した結果、課題解決性、新規性・将来性、実現可能性が優れていたため、研究テーマとして平成30年6月に特定され、令和2年度までの研究が承認されている。</p> <p>以上のことから、当該研究テーマを提案した上記法人と契約を行うものである。</p> |
| 備 考                          |   |